NEWS RELEASE

2026.11.10

コーセー、バックオフィス業務を担う シェアードサービス子会社設立に向け検討開始

～業務集約・整流化を通じ、全体の間接コスト削減と生産性向上～

株式会社コーセー（本社：東京都中央区、代表取締役社長：田中　慎二）は、構造改革の一環として、関連子会社を含む管理・間接業務を集約するシェアードサービス子会社の設立に向けた検討および準備を開始します。

当社は、中長期ビジョンである「Vision for Lifelong Beauty Partner―Milestone2030」の実現に向け、健全な事業成長を見据えた構造転換を進めています。その一環として、当社および関連子会社に分散する業務の集約と、業務の流れや役割分担を整理する整流化を通じて全体の間接コストを抑制していきます。同時に、付加価値の高い活動に専念できる体制を整え、持続的な成長の加速を目指します。

新会社は2028年1月1日の発足を目指し、株式会社コーセーおよび関係子会社の管理・営業サポート業務、ならびにコーセーコスメポート株式会社の一部業務の集約に向け、検討していきます。

1．子会社概要（予定）

名称　　：未定
出資比率　　：株式会社コーセー全額出資子会社
設立予定日　：2028年1月1日
人員規模　　：約120名
集約業務　　：経理、人事、総務、情報システムなどの管理業務、および営業事務サポートや販売支援

2．対象範囲

株式会社コーセーと関係子会社の管理業務、および営業事務サポートや販売支援業務、ならびにコーセーコスメポート株式会社の一部業務。

3．期待される効果

対象業務の集約・効率化により、間接業務の約2割を削減し、年間約2億円の人件費削減を見込んでいます。創出したリソースを成長領域やコア業務へ振り向けることで収益性を高め、中長期ビジョンで掲げる営業利益率12%の達成を目指します。

4．業績に与える影響

本件が、当期の連結業績に与える影響はありません。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせします。

今後の見通し

新会社の社名、組織体制、拠点等の詳細は、発足に向けた準備を進める中で決定し、順次公表します。当社の経営基盤を一層強固にし、企業価値の持続的な向上を目指します。

このニュースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社コーセー　コーポレートコミュニケーション室　TEL　03－3273－1514（直通）